

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
植村 佳世子			
金2, 金3			
添付ファイル			

科目の概要	音楽科の目標「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。」やその内容について解説する。また、この目標を踏まえ、教材を用いた実践を通して、各学年目標の理解が深められるようにする。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション、音楽科目標及び内容の概要  ・シラバスをもとに、授業内容や準備物（テキスト・リコーダー）についての説明  ・「青山大学学園歌」 斉唱  ・音楽科の目標及び内容、各学年の目標及び内容についての解説</p> <p>※第2回以降、ソプラノリコーダー（ジャーマン式）を持参すること。  ※テキスト第2章P. 9～P. 15を読み、教科の目標を大まかに捉えておくこと。  またP. 16～P. 19を読み、低・中・高学年の目標の違いを捉えておくこと。</p> <p>第2回 二つの領域及び共通事項について  ・指導計画の作成に当たって 「A表現」「B鑑賞」「共通事項」についての解説  ・随時、歌唱曲やリコーダー曲の演奏</p> <p>第3回 ※テキストP. 139の「音符、休符、記号や用語」について、読み方と意味を調べておくこと。  「歌唱」「器楽」の学習と指導① ～共通教材「うみ」「虫のこえ」「ふじ山」、リコーダー曲「笛星人」をもとに～  ※テキストP. 164～P. 165各学年の歌唱共通教材を確認し、歌えるようにしておくこと。</p> <p>第4回 「歌唱」「器楽」の学習と指導② ～共通教材「もみじ」「こいのぼり」「ふるさと」、合奏曲「ラバーズコンチェルト」をもとに～  ※「ラバーズコンチェルト」（6年P. 14）の①をリコーダーで演奏できるようにしておくこと。</p> <p>第5回 「音楽づくり」「鑑賞」の学習と指導① ～「手拍子でリズム」（3年）、「メヌエット」ト長調（3年）をもとに～  ※ベートーベンについて詳しく知り、代表作品の旋律をロザさめるようにしておくこと。</p> <p>第6回 「音楽づくり」「鑑賞」の学習と指導②  ～「リズムをつくってアンサンブル」（6年）、「？」をもとに～</p> <p>第7回 指導案作成に向けて  指導案例をもとに、題材のねらいや共通事項とのかかわり、評価の観点、授業の流れの確認。  I C Tを利用した効果的な学習法の解説。</p> <p>第8回 模擬授業に向けてのグループ交流  指導案作成にむけて、本時の目標や学習内容、教師の働きかけ、評価規準などグループでの十分な話し合い</p> <p>第9回 グループ指導案作成  グループごとに互いの指導案を参考に、よりよい学習展開のあり方の話し合いを生かしたグループ指導案作成</p> <p>第10回 第1学年教材による模擬授業及び意見交換①  （低学年歌唱、器楽指導法の研究）</p> <p>第11回 第1学年教材による模擬授業及び意見交換②  （低学年音楽づくり、鑑賞指導法の研究）</p> <p>第12回 第3学年教材による模擬授業及び意見交換①  （中学年歌唱、器楽指導法の研究）</p> <p>第13回 第3学年教材による模擬授業及び意見交換②  （中学年音楽づくり、鑑賞指導法の研究）</p> <p>第14回 第6学年教材による模擬授業及び意見交換①  （高学年歌唱、器楽指導法の研究）</p> <p>第15回 第6学年教材による模擬授業及び意見交換②  （高学年音楽づくり、鑑賞指導法の研究）</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽科教育に関心をもち、実際の表現や教材研究など意欲的に取り組む。</li> <li>「A表現」では、何度も演奏を繰り返す中で、表現の工夫ができる能力を身に付ける。</li> <li>「B鑑賞」では、楽曲を全体にわたり感じ取ることができ、構造や特徴、演奏のよさを理解できるようになる。</li> <li>子ども側に立った目標設定を工夫し、よりよい学習展開のあり方を考え、実践できるようになる。</li> </ul>
授業の方法	<b>【授業形態】</b> ・講義形式 ・実技(全体、個、グループ、リレー演奏) ・模擬授業(グループ)

	<p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回、6回の授業では、グループワークによる音楽づくりや互いの感じ方の交流を通して気づきを得る。</li> <li>・第8回、9回の授業では、グループワークによる話し合いを十分に行い、各自の指導案作成及びグループ指導案作成に生かす。</li> </ul>								
成績評価の方法	<table> <tr> <td>授業への参加態度</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>授業内レポート</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>学習指導案の作成・模擬授業</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>最終レポート</td> <td>30%</td> </tr> </table>	授業への参加態度	20%	授業内レポート	20%	学習指導案の作成・模擬授業	30%	最終レポート	30%
授業への参加態度	20%								
授業内レポート	20%								
学習指導案の作成・模擬授業	30%								
最終レポート	30%								
教科書・テキスト	<p>教科書「小学校の音楽」1・3・6学年用(教育芸術社)  「小学校学習指導要領解説 音楽編」(文部科学省)  「初等科音楽教育法」(音楽之友社)</p>								
参考書	必要に応じて適宜紹介、資料配布をする。								
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	「授業の内容」項目において※掲載								
履修上の留意事項	第2回以降、ソプラノリコーダー(ジャーマン式)を各自必ず準備し、運指を確かめておくこと。								
オフィスアワー	授業終了後教室で								
担当教員への連絡方法	教務課へ申し出ること								
その他	※模擬授業指導者は、指導案をもとに細案を作成し、ねらいに沿った導入→展開→まとめにできるようにする。児童側も同様に授業全体を振り返り、よかった点や課題を見つけ、自分の授業に生かせるようにすること。								